

## 平成 27 年度第 12 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 28 年 3 月 29 日（火） 14 時 15 分～16 時 30 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 出席者 平成 27 年度青森市子ども会議委員 14 名（欠席者 14 名）  
平成 27 年度青森市子どもサポーター1 名（欠席者 5 名）  
事務局 7 名
- 4 活動内容 【第 1 部 第 12 回青森市子ども会議】
  - 1 開会
  - 2 市長あいさつ
  - 3 子ども会議委員から市長へ「平成 27 年度活動報告書」の提出
  - 4 川崎市子ども会議との交流活動の報告
  - 5 今年度の活動を振り返って
  - 6 閉会【第 2 部 平成 27 年度青森市子ども会議ご苦労様会】
  - 1 委員どうしの近況報告、情報交換等
  - 2 事務局からのお知らせ

### 5 開催概要

今年度最後の活動となる今回の子ども会議は、第 1 部と第 2 部に分けて行われました。第 1 部では、今年度の活動の締めくくりとして、鹿内市長への「平成 27 年度青森市子ども会議活動報告書」の提出や、2 月に川崎市子ども夢パークで実施した、川崎市子ども会議との交流活動の報告などを行いました。第 2 部では、「ご苦労様会」として、委員どうしで今年度の活動を振り返ったり、来年度の活動についての意見交換を行う時間を設けました。

#### 【第 1 部 第 12 回青森市子ども会議】

##### 市長あいさつ

こんにちは。今年一年間、皆さんには大変お世話になりました。今年は、これから報告がある、川崎市子ども会議との交流をはじめ、皆さんの活動がパワーアップしていました。子どもの権利の日のイベントでは、皆さんからまちづくりのご提案をいただきました。これからもそのような機会を生かしながら、青森市のまちづくりを進めていきたいと思えます。

また、来年度も引き続き子ども会議への参加をお願いし、児童福祉専門分科会委員の方々や子どもサポーターの皆さんのお力もいただきながら、子どもにやさしい、そして、すべての人にやさしい青森市のまちを一緒に作っていききたいと思えます。今日は、限られた時間を楽しく過ごしていきたいと思えます。



続いて、子ども会議委員の代表者 2 名から市長へ、今年度の子ども会議の活動記録をまとめた

「平成 27 年度活動報告書」を提出しました。

## 「平成 27 年度活動報告書」の提出

### 【子ども会議委員】

「一年間子ども会議を支えてくださり、ありがとうございました。おかげで、子ども会議委員として、イベントなど青森市民と一緒に楽しく過ごすことができました。これからもよろしくお願いします。」

「今年一年間ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いします。」

### 【市長】

「ありがとうございました。」



次に、2月に川崎市の子ども夢パークで行われた川崎市子ども会議との交流活動について、参加した3名の子ども会議委員を代表し、高校2年生の子ども会議委員から報告をしました。この報告は、子ども会議委員が自ら作成した資料を使って行いました。

## 川崎市子ども会議との交流活動の報告

### 【子ども会議委員】

2月20日、21日の2日間、川崎市に行ってきました。

#### 1. 川崎市について

川崎市は、神奈川県の北東部に位置している政令指定都市です。川崎市には、川崎区、中原区、高津区、多摩区、宮前区、麻生区、幸区の7つの行政区があります。面積は、青森市が川崎市の5倍以上です。人口は、川崎市が青森市の5倍ほどとなっています。

#### 2. 交流活動について

交流場所は、「川崎市子ども夢パーク」という所で行われました。子どもたち一人ひとりが大事にされなければならないと考えた大人が、川崎市子どもの権利に関する条例を作り、その条例を基に、夢パークが作られたとのこと。

夢パークには、川崎市子ども会議の事務室、プレーパークと呼ばれる冒険的な遊び場、フリースペースえん、体育館のような屋根付きの広場、2つのスタジオなどがあります。プレーパークには、ログハウスや小屋、タワー、かまどなど、「土、水、火、木」と自然と触れ合える遊び場でした。曜日によっては、たき火ができたり、工具が使えたりすると聞きました。



### 3. 川崎市の子ども会議について

川崎市の子ども会議は、2002年にできました。川崎市子ども会議は、「子どもが自分たちの手で子どもの権利や川崎のまちづくりなどについて活動を進めていくもの」と決められています。事務室は、川崎市子ども夢パーク内にあります。ここを中心として、「自分たちで決めたテーマに関する活動」や「市内の多くの子どもとの交流」、「子ども集会の企画運営」、3月の「市長さんへの提言に向けた活動」などを行っているそうです。原則月2回、第1・第3日曜日の午前10時に集まっているそうです。



「自分たちで決めたテーマに関する活動」は、私たち青森市子ども会議と同じだと思います。「かわさき子どもの権利の日のつどい」というものがあり、青森市子ども会議でいう「子どもの権利の日のイベント」と同じようなもので、この日に市長さんに提言をしているそうです。

また、関わり合いが少ない市内の子どもたちや子ども会議委員のために、市内の多くの子どもとの交流をしているそうです。「子ども集会」とは、市と行政区の子ども会議の活動報告やフリートークなどが年に1度行われているそうです。

### 4. 川崎市子ども会議について

今年度は、「エコキャップ」と「たばこ」という、自分たちで決めたテーマについての活動や行政区の子ども会議との連携、チラシや書類作りをしていたそうです。交流の日にも、より住みやすい川崎にするために、たばこの分煙について話し合いをしていました。たばこについての活動は、今は3年目で、実際にたばこの害について保健体育の先生の講義を受けたり、街中に出て、喫煙や分煙スペースの調査を行ったり、市役所の担当職員に話を聞いたりした時もあったそうです。

エコキャップ回収活動は、夢パークの近くの店に協力をしてもらい回収ボックスを置いて、ペットボトルのキャップを集めていました。初めはゴミ箱と間違われて、ゴミを入れられることがあったそうです。そのため回収ボックスに自分たちで作ったポスターを貼り、エコキャップ回収について、目的などを市民の人に知ってもらい、協力してもらう活動もしたとのことでした。夏には回収ボックスから溢れるほど集まったと聞きました。集められたペットボトルキャップはリサイクル業者に買い取ってもらい、キャップはプラスチック製品にリサイクルされ、買い取りのお金は慈善活動の募金や福祉活動の資金などに使われるそうです。



自分たちでテーマを決めて活動していることについては、私たちも同じように活動しています。また、チラシや書類作りについてですが、委員募集のチラシや市長への報告資料は委員が自分た



ちで作ったそうです。委員のみんなでどういうものにするのかを決め、役割分担をして作るそうです。

## 5. 参加した他の委員からの感想

- ・今回の交流会に参加させていただいて、川崎市子ども会議は、すごくアットホームな雰囲気、学年や性別に関係なく話し合っているなど感じました。川崎市の子ども委員たちは、常に新しいことにチャレンジしていくことを大事にしているそうなので、その考え方は青森市子ども会議の私たちにも生かしていけたらいいなと思いました。施設は、幼稚園児くらいの小さい子から高校生くらいの人まで、いろいろな年齢層の人たちが楽しそうに使っていて、工具などの危ないと思うような道具も自由に使えるというのがすごいなと思いました。安全面だけを重視するのではなく、のびのびと子どもたちが遊べるような工夫がされていたので、そういうところも青森市のまちづくりに取り入れていければいいなと思いました。貴重な経験をさせていただいてありがとうございました。



- ・川崎市の子どもたちと交流して、川崎市の子どもたちはみんな仲良しだと思ったし、施設自体も、仲良く過ごせたり遊んだりできたりする場所だったので、青森市にもそういう施設があればいいなと思いました。夢パークにはみんなが楽しく遊べる体育館みたいなのところがあって、青森市もみんながのびのび楽しく過ごせたらいいなと思いました。



交流活動の報告が終わった後、子ども会議委員とサポーターの皆さんから、今年度の活動の感想や来年度に向けての抱負などについて発表しました。

### 今年度の活動を振り返って

- ・今年を振り返って、とても楽しかったなと思います。青森市について、去年よりもっと知ることができたし、いろいろ考えることができたし、とても充実した活動ができました。一年間ありがとうございました。

- ・今年イベントだけでなく、ねぶた祭りへの参加や、他市の子どもたちとの交流など、すごく充実した活動だったと思います。川崎に行かせていただいて、他の人達が思っている青森市のイメージとかが分かったので、その経験を生かしながら来年度も頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・今年、高校2年生ということもあって、年上らしいことをいっぱいしようと思ったんですけども、部活や勉強が思ったよりも忙しくてあまり参加できなかったのがちょっと残念でした。ポスターやイベントなど、年上の人達だけで動いてしまった面があったので、来年はちゃんと「一緒に仕事しよう」という雰囲気、みんなで一緒に頑張っていけたらいいなと思いました。
- ・何年かやっているんですが、毎年新鮮な気持ちで子ども会議に参加することができていて、今年もすごくよかったです。今年イベントの日に「謎解きゲーム」というかたちでまた新しいことができて、自分も成長できたと思うので、自分も青森市もどんどんよくしていけたらと思います。
- ・今年度はねぶた祭りやイベント、川崎市との交流などいろんな楽しい経験ができてとても良かったと思っています。来年度は川崎市に行ってきたことを踏まえて、青森市子ども会議をもっと進化させていきたいと思います。よろしくお願いします。



その後、子ども会議委員と市長で、今年度の子どもの権利の日イベントや今後の子ども会議などについて自由に意見交換をし、最後に改めて市長から感想をいただきました。

### 市長からの感想

今年一年ありがとうございました。先程の皆さんからのお話を聞くと、来年も続けたいという方が多くて安心しました。自分を向上させるとともに子ども会議も発展させて、青森市をいいまちにしたという話を皆さんから聞くことができてよかったです。子どもの権利条例を作ってよかったです。そして、子ども会議を権利条例ができる前から続けてきてよかったです。ありがとうございました。

最後に、市長をはじめ参加者全員で記念撮影をして、第1部の子ども会議を終了しました。



## 【第2部 平成27年度青森市子ども会議ご苦労様会】

続いて、子ども会議委員、子どもサポーターの皆さんで、久しぶりに会う委員どうしの近況報告や今年度の活動を振り返り、今後の活動についての意見交換を行うことを目的として、子ども会議ご苦労様会を行いました。

子ども会議委員の一人にあいさつをしてもらい、ジュースで乾杯した子ども会議委員たちは、「子ども会議でねぶた祭りに参加したことが一番楽しかった！来年度もやりたい！」「権利の日イベントの謎解きゲームの準備が大変だった…」などと今年度の活動について自由に振り返っていました。子どもたちに来年度の子ども会議への参加について聞いてみると、ほとんどの委員が継続して参加してくれるということでした。



以上で今年度の子ども会議はすべての活動を終わりました。子ども会議委員の皆さん、サポーターの皆さん、1年間本当にお疲れ様でした。